

薬剤部長職場放浪記

第6回



部長：東北フロック労災病院薬剤部会で演題にした「そろまめシール」について、詳しく知りたいなあ。
T主任「そろまめシール」について教えて！

主任 T：何から話そう…。はじまりの経緯ですが、いわき市薬薬学連携協議会という病院薬剤師会いわき支部、いわき市薬剤師会、医療創生大学からなる組織が立ち上がり、その中で腎機能低下により注意を要する医薬品の適正使用推進を目的として、お薬手帳に「そろまめシール」の貼付を開始しました。

部長：かなり普及してきているの？

主任 T：2017年開始したものの、院外処方箋に検査値を記載する施設が当院を含めた数施設であり、普及や認知度は低迷状態でした。それを打破するため2024年協議会で運用規定の改訂をきっかけに普及活動を行い、いわき市内での普及、認知度はかなり上がっています。

部長：当院での運用も知りたいなあ。

主任 T：当院では退院指導時、患者さんのお薬手帳に、「そろまめシール」の貼付と検査値を記載することで腎機能の再評価に繋がっています。後は、「そろまめシール」新規貼付患者一覧に登録し、カルテ記載も行っています。「そろまめシール」普及に伴い、腎機能回復例として登録し、既に「そろまめシール」が貼付されたお薬手帳を持参した場合は、病棟担当者がその旨を記録しカルテ記載を行っています。



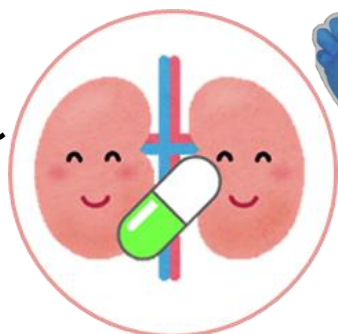
薬剤部ホームページ 薬剤部関連情報

部長：良き取り組みだから、いわき市に留まらず、福島全域、東北地域に広がっていくのが楽しみだな♪
いわき地域以外の方が詳しく知りたいときはどうしたらいいの？

主任 T：福島県病院薬剤師会 (<https://www.fukushima-byoyaku.jp/institution/>)、いわき市薬剤師会 (<https://www.iwaki-pa.or.jp/tasyokusyu>) に掲載されています。

部長：「そろまめシール」はシールですが、シール交換はできませんのでご注意ください。

つつく！



そろまめシール

